



「志」大野中だより

令和 8 年 7 月 13 日(月)

文責:校長 瀬口 勇治



80周年記念航空写真の撮影を行いました

大野中学校は、今年で創立 80 年を迎えます。そこで、80 周年を記念して、7 月 10 日(金)に、全校生徒、教職員で「80 周年記念航空写真」の撮影を行いました。長谷川 PTA 会長にお手伝いいただき、グラウンドにラインを引くことができ、無事に撮影が終わりました。出来上がりが大変楽しみです。



さて、現在の中学校制度は、第二次世界大戦後の 1947 年(昭和 22 年)に始まりました。それまでの学校制度は、進学できる人が限られていましたが、新しい制度では「すべての子どもが 9 年間の義務教育を受けられる」ことが大切な考え方になりました。大野中学校が誕生したのは、その新しい時代が始まった頃です。つまり、本校の歴史は、日本の新しい教育の歩みとほぼ同じ時間を刻んできた学校なのです。

この 80 年で学校の様子も大きく変わりました。黒板とチョークだけだった教室に電子黒板やタブレットが入り、学ぶ内容や方法も変化しました。しかし、変わらないものがあります。

それは、「人が学び、人として成長する場所」であるという学校の役割です。

80 年間、この学校には毎年新しい生徒が入学し、卒業していきました。一人ひとりが学校の歴史をつくり、それを次の世代へ受け継いできました。みなさんも、その歴史の大切な一員です。みなさんの学びや挑戦、仲間との関わり、一つ一つの行動が、これからの大野中学校の歴史になっていきます。

地区別生徒集会を行いました。

7 月 7 日(火)に区長・副区長の皆様をお招きして、「令和 8 年度第 1 回 地区別生徒集会」を行いました。

体育館で全体会を行った後、4 地区に分かれ、それぞれの区長・副区長の皆様から、地域の様子や今後予定されている行事の紹介、大野中学校の生徒に期待することなどについてお話をいただきました。生徒たちは真剣な表情で耳を傾け、自分たちが暮らす地域について理解を深める貴重な機会となりました。



夏祭りや清掃活動、防犯パトロール、餅つきなど、地域には多くの行事や活動があります。これらは地域の方々の支えによって成り立っていますが、将来の地域を担う中学生の力も必要とされています。ボランティア活動は、地域のために貢献するだけでなく、人とのつながりを広げ、自分自身の成長にもつながります。

今回の集会をきっかけに、「地域の行事は誰かにやってもらうもの」ではなく、「自分たちも地域の一員として参加し、支えていくもの」という意識をもち、積極的に地域活動やボランティア活動に関わってほしいと思います。地域の中での経験は、学校生活では学ぶことのできない多くの学びや気づきを与えてくれるはずです。

蒸し暑い中、生徒たちのために貴重なお話をいただいた区長・副区長の皆様、本当にありがとうございました。

主な行事予定

- 7/16(木) 志タイム⑦
- 7/17(金) 終業式<授業、要昼食>
- 7/18(土) 夏休みスタート
- 7/25(土) 瓦田区、白木原区 夏祭り
- 8/ 1(土) 雑餉隈町区 夏祭り
- 8/ 5(水) 第5学区進路相談事業
- 9/ 1(火) 始業式
- 9/ 2(水) 夏課題テスト
- 9/ 4(金)~6 日(日)2年生修学旅行

授業づくり研修を行いました。

7月8日(水)、3年3組の社会科で横光先生が公開授業を行い、その授業を参観しながら、全教職員で授業づくりについて研修を行いました。これからの社会を生きる子どもたちには、知識を身に付けるだけでなく、自分で考え、周りと協力しながら課題を解決していく力が求められています。

そのため本校では、生徒同士が意見を交流したり、資料や情報を根拠に考えを深めたりする学習活動を大切にしています。一人一人が主体的に学び、自分の考えを表現しながら他者と協働して学ぶことのできる生徒の育成を目指し、今後も授業改善に取り組んでまいります。